



先月は、リオオリンピックやパラリンピックが行われ、日本人の活躍に熱中し盛り上がったことでしょう。前回のサポート通信で紹介した「ボッチャ」という種目はご覧になりましたでしょうか。日本代表ボッチャチーム（3大会連続出場）は、前回覇者で世界ランク1位のタイに4-9で敗れましたが、史上初の銀メダルを手に入れました。杉村英孝主将は「重みを感じる。このメダルはボッチャ界の大きな一歩」と次回への豊富を話されていました。次の2020年東京パラリンピックにも期待したいと思います。

さて、本校では、今年の文化祭（下特スマイルフェスタ）に向けて、児童生徒の皆さんはその準備をコツコツ行っています。今年はどうな文化祭になるのかとても楽しみです。ぜひ、来校していただき、児童生徒のきらきら輝く姿を間近で見ただけなら幸いです。期日は11月3日（木）文化の日となっています。

今回のサポート通信では、「3つの教育課程と自立活動」について、ご紹介いたします。

1 しもとくサポート情報コーナー

3つの教育課程と自立活動

○本校は、小学部・中学部・高等部までありますが、児童生徒の実態を総合的に判断して、3つの教育課程に分かれ、グループで学習を行っています。



教育課程	児童生徒	学習内容および自立活動
I 課程	通常の学校と同じような学習を行っている児童生徒	<ul style="list-style-type: none">・教科学習を中心とした授業を行っています。・自立活動には、身体の動きに関すること（例えば、立位の練習や歩行練習など）やコミュニケーションに関すること（ソーシャルスキルなど）を行っています・将来の自立した生活のために必要な力を身につけられるように指導しています。
II 課程	日常生活の指導や生活単元学習を主として学習を行っている児童生徒	<ul style="list-style-type: none">・ADL（日常生活動作）の向上に向けて、挨拶や歯磨きの仕方などを日々上達できるように繰り返し取り組んだり、買い物学習や公共施設の利用の仕方など社会生活を営む上で必要となる事柄を体験しながら学習したりしています。・自立活動や国語・算数（数学）など個々の実態に応じた学習も、計画的に学んでいます。・社会生活で自信を持って生活できる力を身につけられるように指導や支援をしています。
III 課程	自立活動を主とした学習を行っている（訪問教育を含む）児童生徒	<ul style="list-style-type: none">・お話（物語の読み聞かせなど）やきせつ（四季を感じる学習）などの学習の中で、表情や発声および動作で自分の気持ちを表現することを目指して学習に取り組んでいます。・児童生徒がただ与えられるだけでなく、自ら意思や気持ちを表出することで、QOL（生活の質）の向上を目指せるように指導や支援をしています。

このように、児童生徒は、教育課程や学習グループに違いはありますが、学年の授業や給食、休み時間などにはグループの枠を超え、友だち同士で積極的に触れ合いを図るようにしています。また、職員が仲立ちになることで、他学年同士で交流する様子も増えつつあります。このような人と人とのかわわりは、児童生徒が社会の中で、笑顔で生きていく上で必要不可欠なことになると思われ、小・中・高等部分け隔てなく継続して取り組んでいます。

2 今後の予定

10月3日（月）体験入学

11月3日（木）文化祭（下特スマイルフェスタ）

11月8日（火）、9日（水）、11日（金）第2回学校公開

※8日には、シンポジウム「地域に生きる～地域防災を考える」

11月17日（木）第2回ふれあい教室

〈お問い合わせ〉

TEL 0296-44-1800

FAX 0296-43-9174

（担当：コーディネーター牛久）